

● 1961年

- 1月15日革命的労働者の全国交流会議(博多交流会議)
長崎造船社研(西村卓司)・大正炭鉱共産主義者同志会(谷川 雁・吉本隆明)
三池炭鉱社研(大坪康雄)提唱—共産同各派・革共同全国委・日本革共同
労働運動研究所(長谷川 浩)・渥美新民主主義協会(杉浦明平)等参加
小川 登、前田裕晤、青木正義等参加
- 1月22日マルクス主義青年労働者同盟(マル青労同)—結成(革共同全国委員会系)
- 1月27日『革命の理論』第1号(～3号)(共産同関西地方委員会教宣部)
- 1月×日「構造改革と労働運動」(江田三郎・「月刊総評」)
- 1月×日機関紙「共産主義の旗」第1号創刊
- 2月20日小田 実『何でも見てやろう』発刊
- 2月25日共産主義者同盟(共産主義の旗)—結成・田川和夫、栗木伸一(林 紘義)
機関紙「共産主義の旗」—『プロレタリア通信』派から全学連・岐阜県学連の分離
- 2月×日共産同関西地方委員会大会(小川 登、今泉正臣、田坂 元等、革共同へ移行)
- 2月26日共産同全国労働者細胞代表者会議(京都・第六回大会開催を決定)
森田 実、松本礼二、前田裕晤、西村卓司他
- 3月7日共産同革命的戦旗派—革共同全国委員会へ加盟表明
- 3月9日共産同「プロレタリア通信」派解散—革共同全国委員会への加盟表明
- 4月4日「戦旗」第53号廃刊「革命的戦旗派指導部解散と革命的共産主義者の現在の任務」
- 4月5日全学連第27回中央委員会(共産同プロレタリア通信派合流)
- 4月×日日本共産党中電細胞の党内闘争が激化。
- 4月28日日本共産党大阪府委員会声明「党派性と階級性をたかめ、トロツキストを粉砕しよう！」
(前田裕晤(同大)、青木正義(立命大)、伊藤修身を除名)
- 5月1日雑誌『現代思想』創刊(現代思想研究会・清水幾太郎編集・鶴見俊輔・樺 俊雄・香山健一)
- 5月5日マルクス主義学生同盟第一回拡大全国大会
- 6月4—6日民青同第7回全国大会
- 6月8日政暴法粉砕・ILO関係国内法改悪阻止闘争
- 6月11日マル学同全都活動者会議(「共産主義学生同盟(共学同)」構想の破産)
- 6月25日革共同全国委員会第四回全国代表者会議(6・25問題＝共学同問題)
- 7月8～11日全学連第十七回全国大会(委員長—北小路敏)
* 京都府学連執行委員会対案～「政治過程論」同大・山本勝也の提起
* 東京大学六自治会対案
* 古賀、木暮中執対案
* 斉藤、柴野、梶対案
* 全自連対案
マルクス主義学生同盟(マル学同)と反マル学同の対立、分裂
- 7月10日「日本共産党大阪中電細胞離党に到る経過について」(前田裕晤)
- 7月11日「社学同再建のアピール—学生運動の再建と革命運動の前進のため闘う学友は
社学同に結集せよ！」(社学同京都大学支部、社学同同志社大学支部、東京大学社学同、
東大教養部社学同、早稲田大学社学同、中央大学社学同)
- 7月11日社学同東京都委員会—発足
- 7月15日社会主義青年運動(SM)-結成
(千葉正徳、新井忠雄、さらぎ徳二・内部機関誌『革命的サンカ』—共産同中央労働学院細胞他)
- 7月20-21日京都府学連第十八回大会(委員長—浅田隆治・京都大学～関西社学同系の指導権確立)
- 7月25～31日日本共産党第8回大会—「綱領」の決定
(春日庄次郎・内藤知周・山田六左衛門・西川彦義・亀山幸三等除名)
- 8月9日神戸大学日本共産党細胞—集団離党(構造改革派)
- 8月11日機関誌『希望』(社学同全国準備委員会)創刊号(中村光男、古賀泉、河野靖好、山崎修太、
福地茂樹、星山保雄、—「社学同再建のアピール…」(社会主義学生同盟)

- 8月13日機関紙「烽起」創刊(社学同東大支部委員会)
 - 8月21日関西大学日本共産党細胞—集団離党(構造改革派)
 - 8月23日「革命的世界党建設に向けて前進せよ！＝同盟の革命化のため公然たる党内闘争を開始せよ＝」
日本革共同関西地方委・大原四郎・他東北・関東・九州地方委～「革命的分派」
 - 8月23日社会主義労働者協会阪神地区委員会—結成(機関誌『革新』・杉本昭典・菊水 望・他)
 - 8月×日安保反対！平和と民主主義をまもる全国学生連絡会議(平民学連・日共系)—結成
 - 8月23・27日日本革命的共産主義者同盟第一回全国大会
 - 9月13日「われわれの運動の出発に際して」(社会主義青年運動・SM)—明智秀胤(千葉正健)
 - 9月29日青年学生運動革新会議(青学会議)—結成(構造改革派)
 - 9月30日『試行』—創刊号(谷川 雁、村上一郎、吉本隆明編集～97年12月74号)
 - 10月4日労働者協会—設立・機関誌『烽火』創刊(「声明」・社学同京都府委員会気付)
 - 10月×日国際主義共産青年同盟(青年インター)—結成
(機関誌『青年インター』日本革共同関西ビューローの分派)
 - 10月7日都学連第14回大会(委員長・小野正春＝中核派)
 - 10月7～9日社会主義革新運動準備会—結成(春日庄次郎他、機関誌『新しい時代』)
 - 10月16日『烽火』第2号(「主張・最近の経済の動きと我々の学習」)
 - 11月13日社学同再建準備委員会(全国事務局・委員長—中村光男、書記長—福地茂樹、
機関誌『SECT6』)
 - 11月×日犯罪者同盟—結成(平岡正明・宮原案春・機関紙「犯罪者の赤い風船」)
 - 12月10日『烽火』第3号(「主張反帝・社会主義の闘いにむけてあらゆる闘争を集約せよ！」)
 - 12月15・16日社学同全国支部代表者会議(第二次社学同・全国事務局派と社学同東大支部の対立激化)
 - 12月15～17日全学連第一八回臨時全国大会(委員長—根本 仁・書記長—小野田襄二)
 - 12月23日『烽火』第4号(主張・春闘と戦闘的労働者)
 - 12月×日全学連第一八回臨時大会(社学同系中執罷免)
 - 12月×日労働者階級解放闘争同盟—結成(革共同関西ビューローの分派・篠原 博
機関誌『赤い旗手』→『イスクラ』)
 - 12月×日雑誌『先駆』—創刊号(深山 真、佐久間 元～2号・62年・先駆編集委員会)
 - 12月29日日本共産労働党結成準備会
- 1962年**
- 1月×日電通労働運動研究会の結成(大阪中電・東京・神戸・四国・機関誌『電通労研』)
 - 1月15日春闘をめぐる政治討論集会(京都)
(関西ブント、長崎社研、日本共産労働党、先駆編集委員、東京社学同)
 - 1月19日関西大学生生活協同組合—設立
 - 1月23日『烽火』第5号(主張・春闘と学生運動)
 - 2月5～8日社会主義革新運動全国委員会第3回総会—分裂～機関紙「新しい路線」発行
 - 2月14日『烽火』第6号(主張・春闘討論集会の総括と我々の立脚点の再評価)
 - 3月1日『烽火』第7号
 - 3月×日反議会戦線・黒田寛一後援会—結成
(黒田寛一、埴谷雄高、梅本克己、秋山 清他・機関誌『反議会戦線』1～5)
 - 3月30日社学同第一回東京都大会
(「書記局派」—東京都委員会・委員長—佐竹茂、書記長—望月彰・機関紙「烽起」)
 - 4月7日関西大学生生活協同組合—設立
 - 4月×日日本共産労働党—結成(委員長—田川和夫
共産同(共産主義の旗)の改称・機関誌紙『共産主義の旗』『プロレタリア革命』)
 - 4月20日『烽火』第8・9合併号(「革命的政治闘争とは何か」)
 - 4月26日関西地方新左翼代議員総会(「結語・関西ブントに結集せよ！」飛鳥浩次郎)
 - 5月2・3日統一社会主義同盟(統社同)—社会主義学生戦線・フロント全国委員会—結成
社会主義革新運動の分裂—～ 議長—山田六左衛門、書記長—安東仁兵衛
機関紙「構造改革」→「平和と社会主義」→「先駆」)
 - 5月26日『議会主義との決別』(黒田寛一後援会<反議会主義戦線>)
 - 5月30日憲法改悪反対集会(京都府学連)龍谷大、大谷大、京都府立大等2500名
 - 6月6日大阪市大全学自治会—発足

- 6月×日『共産主義の旗』一創刊(日本共産労働党機関誌)
 - 6月×日「現代資本主義と国家独占資本主義」(岩田 弘『経済評論』6月号)
 - 6月×日(関西)共産主義者同盟の結成総会—(議長・飛鳥浩次郎)
 - 6月5日『共産主義』第10号(『烽火』改題・「主張・関西ブントに結集せよ!」(関西共産主義者同盟)
 - 6月26日TBSラジオ—田中清玄から唐牛健太郎(全学連委員長)への資金援助報道
 - 6月×日大阪市大同学自治会第1回中執選挙(社会学同の指導部確立・委員長—藤本昌昭 60年入学)
 - 7月1日参議院選挙—黒田寛一~12万3千票落選
 - 7月7・8日京都府学連第十九回大会(委員長—清田祐一郎)全学連大会に全ての潮流参加決議
 - 7月10日『共産主義』第11号(「主張・全学連再建大会を成功させ、来るべき大闘争にそなえよ」)
 - 7月14~17日全学連第一九回全国大会(委員長—根本 仁)
 - 7月27日社会党全国活動家会議—江田三郎「社会主義の未来像」(江田ビジョン)
 - 9月1日社会学同第二回東京都大会
 - 9月15日『共産主義』第12号(「主張・1962年度下半期の闘争に向けて」)
 - 9月15・16日社会主義学生同盟(再建)全国大会(王子労政会館・第三次社会学同)
 - (全国執行委員会・委員長—味噌 修、副委員長—川口宣久・機関誌『理論戦線』)
 - 9月23・24日革共同第3回全国委員会総会(三全総)—第三次分裂開始
 - 9月30日関西ブント細胞代表者会議(「・・・討議資料」)
 - 9月30日憲法調査会中央公聴会阻止闘争
 - 11月15日(関西)共産主義者同盟機関紙「烽火」創刊号
 - 11月20日全都統一学生自治会代表者会議(社会学同・社会学同・マル学同・構造改革派)
 - 11月27日『共産主義』第13号(「主張・同盟大会をむかえる我々の課題」)
 - 11月27~29日日本社会党第二二回全国大会—江田ビジョン否決・江田三郎、書記長辞任
 - 11月30日大学管理制度改悪法粉碎全国統一行動(東大銀杏並木集会、6千名)
 - 12月2日(関西)(共産主義者同盟同盟員総会
 - ・当面する情勢と同盟の現時点での立脚点(飛鳥浩次郎)
 - ・情勢分析・日本資本主義の現段階(佐々木和雄)
 - ・左翼諸潮流の動向およびその中でのニューレフト(園田 浩)
 - ・我々の思想とは何か・共産主義者同盟の思想と我が同盟の思想的基準(田原 芳)
 - 12月8日大管法粉碎・国会の上程阻止全国統一行動(京都円山公園、3千名)
 - 京都府学連委員長・清田祐一郎、イェーリング『権利としての闘争』の引用演説
 - 12月22日「マルクス主義戦線」一創刊(マルクス主義戦線委員会)
 - 12月×日日本社会学同第三回大会(委員長—西浦〇〇、書記長—高見圭司)
 - 12月×日共産主義通信委員会(KTC)—結成(機関誌『共産主義通信』)~解放派の成立
 - 12月×日電通労働運動研究会(電通労研)第二回全国集会
- 1963年**
- 1月19日東京都学連再建大会(委員長—今井 澄、社会学同・社会学同・構改諸派)
 - 1月25~27日民青同第8回全国大会
 - 2月×日「前進」120・122号「同盟第三回全国委員会総会と革命的共産主義運動の現段階」(本多延嘉)
 - 2月8・9日▲革命的共産主義者同盟革命的マルクス主義派第一回大会~革共同第三次分裂
 - 山本勝彦(黒田寛一)、倉川 篤(松崎明)、森 茂(鈴木啓一)、山代冬樹(白井健一)
 - 土門 肇(根本 仁)、西篠武夫(木下 宏)、池上洋司(朝倉文夫)、社会学(藤原隆義)
 - ▲革命的共産主義者同盟全国委員会
 - 武井健人(本多延嘉)、山村克(白井朗)、広田 広(飯島善太郎)、岸本健一(陶山健一)
 - 岡田新(清水丈夫)、北川登(小野田猛史)
 - 3月1日『共産主義』第14号(「特集・中ソ論争とわれわれの立場」)
 - 3月5日『中核』一創刊(マルクス主義学生同盟)
 - 3月14日社会学同多数派フラクション(委員長—河北三男、書記長—豊浦清・機関紙「赤光」発行)
 - 3月15日「烽火」8号「唐牛・東原問題に関する我々の見解」関西共産同政治局
 - 4月1日機関紙「解放」創刊—革共同革命的マルクス主義派
 - 4月20日「新たに戦列に加わる諸君へ」(社会学同関西地方委員会)
 - 機関紙「理論戦線」(京大)「紙の弾丸」(同大)「戦闘への招待」(大阪市大)「火花」(阪大))号外
 - 4月26日『理論戦線』復刊1号(社会学同全国執行委員会「発刊の辞」~社会学同東京都委員会)

●5月1日『共産主義者』第7号「政治局内多数派による革命的マルクス主義の歪曲に抗して
断固たる分派闘争を展開せよ！」

●5月1日「狭山事件」

●5月25日社学同機関紙「赤光」第2号—発行（第1号不明）

●6月6・7日医学連第11回大会（東京医科歯科大・委員長—斉藤芳雄）～社学同系の指導権確立

●6月10日『共産主義』15号（「特集・情勢の展開とわれわれの闘争」）

●6月25日原子力潜水艦ポラリス寄港阻止。日韓会談粉碎国民会議統一行動

●6月×日『マルクス主義戦線』4号

●6月29日大阪市大全学自治会—八木孝昌（60年入学 経済学部）

●7月5～8日全学連第二十回全国大会（革マル派指導権確立・委員長—根本 仁～中核派を排除）

●7月6・7日大阪府学連第二十六回大会—構造改革派指導権の確立

●8月×日日本共産青年同盟—結成（共青・機関紙「青年の旗」・構造改革派）

●8月×日平和と社会主義をめざす学生同盟—結成（平社学同・機関紙「現代革命」・大阪市大）

●8月30日『理論戦線』復刊第2号（「共産主義革命闘争の基本問題の提起」渚 雪彦）

●9月4・5日京都府学連第二十回大会（委員長—高瀬泰司・京都大学～社学同の指導権確立）

●9月×日マルクス・レーニン主義者同盟（共産同再建大会実行委員会）—結成

（渚 雪彦、今井 澄、豊浦 清、河北三男・機関誌『マルクス・レーニン主義』）

「独立社学同」—形成（古賀 暹・東大、三上 治・中央大、斉藤克彦・明治大、機関誌『争鳴』）

●9月×日労働者解放階級闘争同盟—革共同全国委員会に合流

●9月×日革共同第四回全国委員会総会（四全総）

●9月15日民主主義学生同盟（民学同）—結成大会・機関紙「民主主義の旗」・大阪大グループ

●9月22日社学同関西同盟員総会（京都、大阪、名古屋、岡山、和歌山、四国）

●10月1日『戦士』創刊（「主張・10・31 闘争に結集せよ」社学同関西地方委員会）

●10月10日社学同第四回東京都大会（マル戦派、ML派、独立派の論争激化 委員長・河北三男）

●10月31日ポラリス寄稿阻止三府県学連の統一行動（京都、兵庫・大阪）

●10月×日『マルクス主義戦線』6号

●11月6日ロシア革命記念労働者集会（大手前会館・主催・労働者協会、後援・関西共産主義者同盟）

・レーニン・トロツキーの現代的意義（飛鳥浩次郎・同盟議長）

・憲法改悪と労働者階級（三谷 進・政治局）

・中ソ論争と十月革命（園田 浩・政治局）

・闘いの報告（大崎 悟・電通労研）

●11月10日「アカハタ」（日本共産党機関紙）～中ソ論争に対して自主独立の態度

●11月15日『マルクス・レーニン主義』—第1号（マルクス・レーニン主義者同盟（共産同再建大会実行委員会））

●12月×日全国社会科学研究会（全国社研）—結成・日本共産労働党の改組

機関誌紙『科学的共産主義研究』『火花』

●12月×日田川和夫—革共同全国委員会加盟

●12月9日「12・9同志社事件」（日本共産党による学友会への武装襲撃）

● 1964年

●1月10日機関紙「平和と社会主義」—創刊（統一社会主義同盟）

●1月15日春闘討論集會—開催（主催・関西共産同・全国共産主義労働者協議会の提起・京都）

（関西共産同、東京電通労研、社会主義青年運動、長崎社研、広機社研）

長崎社研（西村卓也）・東京電通労研（松本礼二・桜井優貴雄）

・社会主義青年運動（千葉正徳・新井忠雄）・・・参加

●1月27日「革共同全国委員会の戦列に加わるにあたって（上）」田川和夫「前進」168号）

●2月9日「革共同全国委員会の戦列に加わるにあたって（下）」田川和夫「前進」169号）

●2月12日社学同東京都委員会（10・31 東大教養部ストをめぐり分裂・マル戦派、ML派の二重書記局化）

●2月15日『マルクス・レーニン主義』第2号

（「帝国主義列強の抗争の現局面-日韓闘争と革命闘争の勝利のために」渚 雪彦）

●2月×日『戦士』第2・3合併号（「主張・学生運動の新たな波と我々の任務」）

●3月3日『戦士』第4号（「主張・日韓会議阻止闘争を戦い抜け！・・・」）

●3月20日韓国首相・金鐘泌来日阻止闘争

- 3月20日『マルクス主義戦線』7号
- 3月20日社会学同機関紙「赤光」第15号(島山—ML主義派)
- 3月21日共産主義者同盟再建大会—開催(マルクス主義戦線編集委員会)
(議長—水沢史郎・機関誌紙『マルクス主義戦線』『黎明』)
- 3月21~22日共産主義者同盟再建大会—マルクス・レーニン主義者同盟(共産同再建大会実行委員会)~未成立?
- 3月23日社会主義学生同盟第五回(東京都)大会
- 3月30日社会学同機関紙「赤光」第15号(レボルシオン社—統一派)
- 3月×日『現代の理論』第二期創刊—89年12月終刊
- 4月17日公労協—「四・一七スト宣言」
- 4月×日関西労働者学園—開設(京都、大阪、神戸・学長—藤本進治、事務局長—坂上孝→滝田修→岡崎幹郎)
- 5月21日日本共産党—志賀義雄・鈴木市蔵除名発表
- 6月10日日韓会談粉碎! 憲法改悪阻止全国反戦集会
- 6月15日労働者学生政治討論集会
(大阪府立労働会館 共催・(関西)共産主義者同盟・社会主義青年運動)
基調報告①春闘から何を学ぶか ②憲法改悪と労働者階級
- 6月19日「黎明」—創刊(共産主義者同盟・マルクス主義戦線派機関紙)
- 6月19日全関西学生総決起集会(円山公園/)
- 6月30日日本共産党(日本のこえ)—結成(機関紙「日本のこえ」志賀義雄・神山茂夫・鈴木市蔵・中野重治)
- 7月10~13日全学連第二—回全国大会(委員長—根本 仁)
- 7月18・19日京都府学連第二十一回大会(委員長—田所伴樹、書記長—塩見孝也~「第三期論」提起)
→田所委員長退任、塩見委員長代行
- 7月25~31日日本共産党第八回大会
- 7月×日『現代資本主義への一視角』(社会主義研究会・門松暁鐘・レボルシオン社)—刊行
- 8月2日日韓・改憲阻止・反戦全国労働者学生集会(大手前国民会館)開催・二千名
(関西)共産同、共産同ML派、共産同マル戦派、革共同中核派、
革共同革マル派、第四インター、長崎社研、電通労研、他
- 8月2日『共産主義』第16号(終刊「8・2全国戦闘的労働者学生集会と新左翼の方向」)
- 8月2日『マルクス主義戦線』8号
- 8月2日全学連再建準備全国学生集会(京都・歌舞練場)
(京都府学連・書記長—塩見孝也・六百名参加、十二月全学連再建決議)
- 8月10日ベトナム反戦集会(社会党・共産党・総評等137団体)
- 8月×日「共産主義者同盟」—再建結成
(小仏山荘・議長—渚 雷彦・機関紙「赤旗(せつき)」・レボルシオン社(SM—青年社の改名)設立
マルクス・レーニン主義者同盟・社会主義青年運動・電通労研)
- 8月×日『戦士』第5号(「第三の転換点」と我々の課題」)
- 9月×日革共同中核派第五回全国委員会総会(五全総)
- 9月×日『理論戦線』復刊第3号(「現状情勢と我々の任務」)
- 9月6日(関西)共産主義者同盟中央委員会
 - ・経過報告(三谷 進)
 - ・中央委員会議長挨拶(飛鳥浩次郎)
 - ・一般報告(飛鳥浩次郎)
 - ・規約の改正と体制に関する報告
 - ・労働戦線に対する同盟の組織路線
 - ・学生戦線に対する同盟の方針
- 10月17~19日平民学連全国自治会代表者会議(構造改革派退場—12月全学連再建決議)
- 10月22日大阪労働者学園第二期の開催
- 10月28日大阪府立大手前高校自治会(山崎博昭・岩崎正人・佐々木幹朗・三田誠広)、抗議集会
- 10月×日全電通(藤野興一・福富 健・大塚 彰・芹生琢也)。私鉄総連(田中正治)、
国労(大森昌也)、繊維労連(堀 清明)他、関西プント同盟員の配置拡大
- 10月30日「世界革命」第112号(JR・ICP共同編集)
- 11月10日全日本労働総同盟(同盟)—結成(機関紙「同盟新聞」147万人)

(全日本労働組合会議＋全日本労働総同盟＋日本労働総同盟)

- 11月13日原潜寄港阻止全国統一行動(原潜寄港阻止連絡会議、全国6千300名)
- 11月17日公明党—結成大会(公明政治連盟の改組)
- 11月24～30日日本共産党第9回大会(志賀義雄・中野重治等四名除名)
- 11月28日原水爆禁止全面軍縮大阪府協議会(大阪軍縮協)—結成
- 12月1日『戦後思想叢書 マルクス主義とは何か』(藤本進治・大阪大学新聞会出版部)
- 12月1日『研究 論叢』第1集創刊(現代イデオロギー研究会/廣松渉他)
- 12月11～13日全学連再建第十五回臨時大会(民青同系)・委員長—川上 徹(東大)
- 12月8～11日日本社会党第二十四回大会—「日本における社会主義への道」決定
- 12月20・21日全国自治会代表者会議(明大、実行委員長—田中正治)
- 12月×日共産主義通信委員会—機関誌『解放の通信』発行(「解放の通信」編集委員会)

● 1965年

- 1月20日『全世界を獲得するために・共産主義者同盟文献集1』(大阪大学新聞会出版部)
- 1月20日「祖国と学問のために」復刊第1号(民青同系全学連機関紙)
- 1月23日全国労組活動家討論集会(東京)
- 1月×日『マルクス主義戦線』9号
- 2月1日慶応大学全学無期限スト突入(学費闘争)
- 2月1日原水爆禁止日本国民会議(原水禁)—結成(総評・社会党系、原水協の分裂)
- 2月×日「共産主義者同盟」の分裂(政治局多数派=統一推進派・松本礼二、さらぎ徳二、千葉正健、
芦川達郎、正木真一、桜井優貴雄。少数派=ML派、渚 雪彦)
(社学同書記局多数派=ML派・豊浦 清、畠山嘉克、今井 澄、三戸部貴士、河北三男、淵上太郎
少数派=統一推進・川口宣久、高橋茂夫、中井正美、斎藤芳雄)
- 2月28日日本革命的共産主義者同盟(第四インターナショナル日本支部)—第六回全国大会
JR・ICP合同～委員長—太田 竜、書記長—酒井与七(山本統敏)
機関誌・紙『第四インターナショナル』『世界革命』
BL派・「ML主義研究会」派・「社会主義通信」派、「武装」派の「解党論争」の開始
- 2月28日—3月2日民青同第9回全国大会
- 2月×日日韓会談反対闘争協議会結成(共産同マル戦派、ML派、関西ブント、革共同全国委、長崎社研)
- 3月12日社学同第六回大会(委員長—河北三男・書記長—豊浦清～社学同ML主義派・機関紙「赤光」)
- 3月13日社学同統一(東京都)第六回大会—開催(社学同統一派—形成・機関紙「赤光」)
(社学同独立派と社学同書記局少数派の統一)
- 3月15～17日社会主義労働者戦線—結成(革共同全国委員会、共産同マルクス主義戦線派、
長崎社研、浜野哲夫・参議院選挙立候補、パンフ『意思表示』)
- 3月21日関西労組活動者会議
- 3月26日社学同(全国委員会・委員長—須田桂一)—結成(共産同マルクス主義戦線派系)
- 3月30日日本社会主義青年同盟(社青同)学生解放派—結成・機関誌『解放』
- 4月4日兵庫県共産主義者協議会—結成(統社同、社革、東播社会主義同盟、新しい教師の会)
- 4月5日日本社青同学生解放派機関紙「コンミュン」創刊号
- 4月×日日韓会談粉砕・ベトコン支持・原潜寄港阻止・電信共闘会議(電信共闘会議)—結成
(中電労研・中電社研・社青同中電班)
- 4月×日『戦士』第6号終刊(主張・全世界の労働者人民の闘いで、
国際帝国主義の一切の軍事植民地主義を粉砕せよ！)
- 4月×日『理論戦線』復刊第4号(社会主義学生同盟東京都委員会)
「争鳴」「理論戦線」合併号「社学同(東京都)第六回統一大会報告決定」)
- 4月24日ベトナムに平和を！市民文化団体連合(ベ平連)—結成(機関紙「ベ平連ニュース」)
(小田 実、鶴見俊輔、高島通敏、吉川勇一)
- 5月3日社学同第一回全国委員会—開催(委員長—石田寿一・機関誌『理論戦線』・共産同マル戦派系)
- 5月3日共産同統一推進フラクション-形成(?)
- 5月8日『新左翼運動資料集NO1』—発行(社学同関西地方委員会・関西共産同)
- 5月18日立川米軍基地突入闘争(社青同三多摩地区委員会—日本革共同第四インター)
- 5月25日社会主義労働者戦線結成記念・日韓ベトナム政治集会(共産同マル戦派)
- 6月12・13日医学連第十二回全国大会(東京医科歯科大・委員長—山下浩志)—社学同系運動方針の確立

- 6月15日「烽火」45号終刊(「共産主義者同盟『統一委員会』発足にあたって」)
- 6月15日ベトナム阻止・日韓会談反対・安保五周年記念集会(大阪府立職員会館)
共催—安保五周年記念集会実行委員会・共産主義者同盟
- 6月×日共産主義者同盟(統一委員会)結成大会(機関誌「共産主義」「先駆」—先駆社)
議長—松本礼二、副議長—飛鳥浩治郎、書記長—松村三郎、
政治局(常任)—佐々木和雄(瀧美文夫)、杉山明夫(古賀 暹)、
一向 健(塩見孝也)、坂部 潤(八木健彦)、芦川達郎(黒岩卓夫)、
明智秀胤(千葉正健)、正木真一(石井瑛禧)、(桜井優貴男)、
在関西=佐伯 武(佐野茂樹)、大崎 悟(前田裕昭)
八木沢二郎(新開純也)、榎原 均(竹内 毅)、田原 芳(中島鎮夫)
永井武夫(清田裕一郎)、在東京=さらぎ徳二(右田昌人)、
光岡〇〇(荘田一雄)、花島雄三(川口宣久)→斯波寛志(高橋茂夫)
関西共産同・共産同・「独立社学同」(古賀 暹、三上 治~明大、中央大、東大)
電通労研(松本礼二)、社会主義青年運動SM(千葉正健・さらぎ徳二)
- 6月×日『マルクス主義戦線』10号
- ×月×日革命的共産主義者同盟(全国委員会)第二回大会
- 6月22日日韓基本条約・関係協定—締結
- 7月4日第7回参議院選挙—浜野哲夫2万8千票・落選
- 7月8日東京都学連(三派)再建第十四回大会(全電通会館)
(委員長—山本浩司=解放派、副委員長—吉羽 忠=中核派、書記長—斎藤克彦=、社学同)
- 7月9~12日全学連第二回全国大会(革マル派系・委員長—根本 仁)
- 7月31日社学同再建全国大会(社学同全国委員会、委員長—高橋茂夫・副委員長—塩見孝也・高原浩之
書記長—斎藤克彦~社学同統一派と社学同関西地方委員会の統合・機関紙「赤光」)
- 8月1日日韓条約批准阻止・ベトナム侵略戦争反対労働者学生総決起集会(九段会館)
(革共同全国委、共産同統一委員会、共産同マル戦派、長崎社研、第四インター)
- 8月1日『共産主義』復刊準備号(「共産主義」編集委員会・レポルシオン社
「討論の呼びかけ—共産主義者同盟の再建に向けて」)
- 8月5日「先駆」創刊号—発行(機関紙「赤旗(セッキ)」と「烽火」の合併~66年9月25日・33号終刊)
- 8月8日ベトナム侵略反対・日韓条約批准阻止関西労働者学生集会(京都)
- 8月30日ベトナム戦争反対!日韓条約批准阻止のための青年委員会(反戦青年委員会)-結成
社会党青少年局、社青同、総評青対部・全学連(三派)、全学連(革マル派)、
自治会共闘オブザーバ参加、代表—檜崎弥之助、事務局—山下 勝、立山 学、
高見圭司~スローガン「自主・創意・統一」
- 8月×日『マルクス主義戦線』11号
- 8月×日日本社会主義青年同盟解放派(東京)—結成総会(議長—樋口圭之介)
- 8月×日第一回全国マルクス主義研究会「わが革命的共産主義運動の特質」—革共同革マル派
- 8月×日日本革共同(第四インターナショナル日本支部)第二回全国大会—太田 竜=「徳川・中曽根」提案否決
- 8月×日第四インターナショナル日本支部(ボルシェビキ・レーニン主義)BL派—結成(太田 竜)
機関誌「第四インターナショナル」「世界革命」
- 9月2日ベトナム戦争反対・日韓条約批准阻止大阪実行委員会(ベトナム反戦大阪実行委員会)—結成
総評大阪地評、社会党大阪府連、電機労連、府学連、社革新、統社同等十四団体)
- 9月9日ベトナム戦争反対・日韓条約批准阻止のための全大阪反戦青年委員会(議長—岡田義雄)
(全大阪反戦青年委員会)—結成・(機関紙「大阪反戦ニュース」)
議長—岡田義雄、事務局長—鍵山伊佐雄、全大阪反戦・社青同、総評地評青年部等)
- 9月11日反戦青年委員会第一回全国代表者会議(ベトナム反戦・日韓批准阻止闘争決定)
- 9月23日日本共産党(解放戦線)全国指導部—結成・機関誌『平和と独立』
(志田重男・上田 等・水野 進・吉田四郎・柳田秀一)
- 9月×日『マルクス主義戦線』12号
- 10月2・3日京都府学連第二十二回大会(委員長—尾崎洋—京都大学)
- 10月4・5日部落解放同盟第二十回大会—日本共産党との対立激化
- 10月12日日韓条約批准粉碎全国統一行動(十万人国会請願デモ)
- 10月17日全国自動車運輸労働組合(全自連)関西地区生コン支部—結成(機関紙「くさり」)

- 11月×日統社同第四回大会—「戦闘的構造改革」路線決定
- 11月13日日韓条約阻止統一スト
- 12月1日『共産主義』復刊1号(「共産主義」編集委員会・先駆社)
「革命的労働者学生は同盟に結集せよ！第一回中央委員会議案抄録」
- 12月10日中央大学全学闘争委員会(全中闘・委員長—久保井拓三)結成
- 12月11・12日京都府学連(民青同系)再建大会
- 12月13~17日中央大学—学館運営でバリケードストライキ(中大コンミュン)
- 12月×日『マルクス主義戦線』13号